

令和 年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	[住所等記入欄]											
種別	支払金額	給与所得控除後の金額 (調整控除後)	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額									
	5 624 610	3 959 200	1 174 953	0									
(源泉)控除対象配偶者の有無等	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者)			住宅ローン控除適用前の所得税額								
有	有	特定	老										
社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額										
674	953	120	000	180	900								
(摘要)													
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	97,632	旧生命保険料の金額		企業退職保険料の金額	86,772	新個人年金保険料の金額	90,000	旧個人年金保険料の金額				
住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除可能額	1	居住開始年月日(1回目)	2	年	10	月	1	日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住(特特)	住宅借入金等年末残高(1回目)	23,000,000
	住宅借入金等特別控除可能額	230,000	居住開始年月日(2回目)		年		月		日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)		住宅借入金等年末残高(2回目)	
(源泉・特別)控除対象配偶者	氏名	個人番号											
控除対象扶養親族	(フリガナ)氏名	個人番号											
	(フリガナ)氏名	個人番号											
	(フリガナ)氏名	個人番号											
控除対象扶養親族	(フリガナ)氏名	区分	扶養親	3	(フリガナ)氏名	区分							
	(フリガナ)氏名	区分	扶養親	3	(フリガナ)氏名	区分							
	(フリガナ)氏名	区分	扶養親	3	(フリガナ)氏名	区分							

年末調整後の源泉徴収税額が0円
※0円以外の方は該当しません。

住宅ローン控除適用前の所得税額

「住宅借入金等特別控除可能額」
「居住開始年月日」
「住宅借入金等特別控除区分」等が記載されている必要があります。

例

居住開始年月日	令和2年10月1日
住宅借入金等特別控除可能額	230,000円
住宅借入金等特別控除区分	住 = (特別増改築等) 住宅借入金等特別控除 (特特) = 特別特定取得※

※区分については、入居の次の年にした確定申告の申告書第二表「特定適用条文等」に記載してある区分を参考に記載してください。